

ー長年の懸案課題解決ー 積丹町子ども・子育て支援策の拡充!

積丹町子ども・子育て審議会の長年の要望を経て、令和4年度から18歳までの医療費の完全無償化など、町の関連事業施策が充実してスタートしました。

①子ども医療費給付事業【担当課：住民福祉課】

	新 (R4～)	旧 (R3)
事業概要	乳幼児医療費給付事業から制度名変更 18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（高等学校卒業時の年齢）の子どもの医療費を助成 保護者の負担なし	小学6年生までの子どもの医療費を助成 ①3歳未満（就学前） 非課税：入院、外来共に初診時一部負担金のみ（医療580円、歯科510円） 課税：同上 ②3歳以上6歳未満（就学前） 非課税：入院、外来共に初診時一部負担金のみ（医療580円、歯科510円） 課税：入院、外来共に1割負担 ③6歳以上12歳の3月31日まで（小学1年生～6年生） 非課税：入院、初診時一部負担金のみ（医療580円、歯科510円） 課税：入院のみ1割負担
助成要件	所得制限：なし	所得制限：あり 738万円（年収960万円）以上は対象外

②高等学校生徒通学費等補助事業

【担当課：企画課】

	新 (R4～)	旧 (R3)
事業概要	変更なし	高校に就学している生徒の通学及び下宿に要する経費の一部を助成 ①通学費：定期乗車券の月額から1万円を控除した額を補助 ②下宿費：部屋代の月額から1万円を控除した額（補助上限2万5,000円）を補助
助成要件	①所得制限：なし ②対象者：高校に就学している者	①所得制限：あり ②対象者：小樽市及び余市町に所在する高校に就学している者

③中学生サポートゼミナール

【担当課：教育委員会生涯学習課】

	新 (R4～)	旧 (R3)
事業概要	変更なし	海洋センター施設を活用した学習機会を提供し、自分で考え、自分で決めて、自分で学ぶことのできる学習習慣と、志望校を目指すための自信と学力を身につける。 対象者：町内中学生
開催回数	R4年度予定：120回	R3年度実績：69回（延べ468名）

子どもの笑顔が輝く町を目指して！



ソーランわんぼくん・わんこちゃん

④地域福祉交通支援対策事業

【担当課：住民福祉課】

	新 (R4～)	旧 (R3)
事業概要	バス乗車券及びタクシー助成券を1世帯1万円分支給	バス乗車券又はタクシー助成券を1世帯5千円分支給
支給要件	①所得制限：子育て世帯のみ所得制限なし ②対象者：子育て世帯を追加 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（高等学校卒業時の年齢）の子どもがいる世帯を追加	①所得制限：非課税世帯 ②対象者： ・70歳以上の高齢者世帯 ・身体障害者1級、2級の者が世帯構成員となっている世帯 ・ひとり親世帯 ・多子世帯

⑤福祉灯油購入助成事業【担当課：住民福祉課】

	新 (R4～)	旧 (R3)
事業概要	変更なし	価格高騰による高齢者等世帯の冬期燃料の経済的負担軽減のため、福祉灯油購入助成券を交付
助成要件	①所得制限：子育て世帯のみ所得制限なし ②対象者：子育て世帯を追加 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（高等学校卒業時の年齢）の子どもがいる世帯を追加	①所得制限：非課税世帯 ②対象者： ・70歳以上の高齢者世帯 ・身体障害者1級、2級の者が世帯構成員となっている世帯 ・ひとり親世帯 ・多子世帯

⑥高齢者等健康増進事業（ふれあい交流事業）

【担当課：住民福祉課】

	新 (R4～)	旧 (R3)
事業概要	対象者1人に対し町内の入浴施設（3ヵ所）で利用できる優待券を交付（10枚綴り）	対象者1人に対し「岬の湯しゃこたん」の優待券を交付（6枚綴り）
支給要件	対象者： ①70歳以上の高齢者（年齢の引き下げ） ②18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（高等学校卒業時の年齢）の子どもを追加 など	対象者： ①75歳以上の高齢者 ②3級以上の身体障害者手帳・療育手帳保持者

快拳！鈴木 雅乃さん（美国中3年） 女子硬式野球 全国大会で準優勝！ ～ 主将としてチームを牽引 ～



7月24日から27日の間に長野県松本市で開催された女子中学生の硬式野球全国大会「第5回 Girls チャンピオンシップ」に道選抜チーム「北海道ガールズ」の主将として、余市リトルシニア所属の鈴木雅乃さん（美国中3年）が出場。チームは見事準優勝を果たし、8月18日に役場を訪れ、松井町長、十河教育長へ大会結果を報告しました。



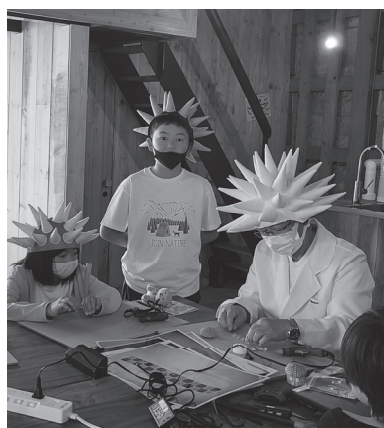
2番ショートで全試合に出場し、主将として攻守にわたりチームを牽引した鈴木さんは、「決勝で負けてしまったのは悔しいけれど、家族やチームメイトからの声援があったから、準優勝という結果を残せたと思います。チームメイトと過ごした時間は一生の思い出です。」と話していました。



「親子で川遊び自由研究」は、1泊2日で積丹町の「森・川・海」のつながりを遊びながら学び、学んだ。

小泊海岸で積丹町の海の浅瀬で暮らすウニやナマコ、小魚などに子ども達が直接触れ合うイベント。子ども達は怖がりながらも「すべすべしてる！」など普段触れ合うことのない海の生き物に興味津々の様子でした。

積丹町地域活性化協議会（代表…杉山 寛）が主催する「親子で川遊び自由研究」が7月23日に、同第2回「親子で川遊び自由研究」が8月6日・7日に催されました。



2日目は、町農林水産課の水鳥水産技術指導員がウニ博士となり、ウニのクイズやウニランタン作りを体験するなど、夏休みの貴重な思い出となりました。

午後の部は、森に場所を移して、樹木の種類などを学び、その後は森のアスレチックでブランコやハンモックなど樹木を活用した遊びを体験しました。

ことを模造紙にまとめ、自由研究を完成させることを目的に開催。午前の部は、子ども達が水中眼鏡や網を持って川に入り、一生懸命、水面を見つめて生き物探し。水に濡れながらも夢中になって楽しんでいく姿が印象的でした。

ウニの学校始まる！ ～ 夏休みの思い出づくり～





海洋センターで思い出作り！

町

内各小学校の夏休み期間中、B & G 海洋センターを活用した様々な取組が行われ、参加した児童はそれぞれに夏休みの思い出を作りました。

7月26日・27日の2日間は、夏休み「朝活どう場」が行われ、参加した児童は各小学校教員の指導を受けながら、それぞれ持ち寄った夏休みの宿題を進めました。この学習活動は2日間、26名が参加。児童はいつもと違う先生から学び、褒められる体験がやる気に繋がっている様子



で、宿題を済ませた児童は自ら選んだ問題集を使用し、自発的な学習に取り組んでいました。

また、「B & G ジュニア水

泳教室」が7月26日から7月27日の2日間、「朝活どう場」終了後に実施。1年生から6年生までの児童がそれぞれの泳力に合わせたグループで水泳指導を受け、主に低学年児童はキック練習、高学年児童は泳法・フォームの指導を受け、積極的に水泳に取り組んでいました。

2つの事業は「生活習慣の定着」を目的の一つとして行っており、事業終了後も早

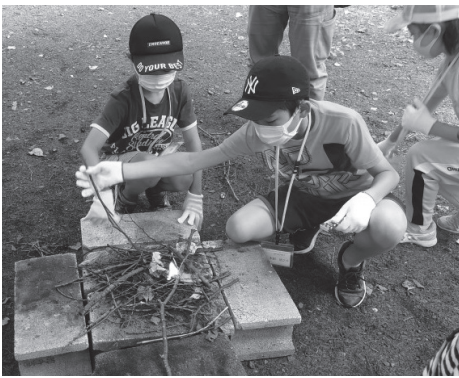
起きして勉強・水泳道具を持参し、同センターを訪れる児童もいるなど、夏休み中の規則正しい生活習慣と同センターの利用意識の定着が見られました。

自立性を育む体験

7

月29日は、おたる自然の村で自然体験活動を行う『第2回少年教室

「B & G 日帰り野外体験プログラム in おたる」が開催され、22人が参加。同教室では、生物についての学習、木工クラフト制作を行ったほか、講師指導のもと、自然の木々やコンクリートブロックを用いて、火のつけ方を学びました。参加した児童は体験学習を通じて仲間との共



助の意識や、親から離れて生活する自立性を育みました。

全道から選手が集結

令

和4年度B & G 北海道ブロック・スポーツ交流交流会「水泳の部」

が8月7日、東川町B & G 海洋センターで行われ、全道7町の海洋センターから小中学生合わせて39名の選手が参加。競技には、町ジュニアスイミングクラブのメンバー9人が、日頃の練習の成果を競い合ったほか、全道の各海洋センターやスイミングクラブとの交流を深めました。

